

お花見に行って来ました



今年も桜のお花見に行って来ました。
妙了寺は満開でしたが、滝沢川公園はまだ七分咲きでした。それでも皆さん春の日差しの中を、ゆっくりと桜の花を見ていました。今年は、すももや桃の花が桜の花と重なり、とてもいい季節を迎えたと思います。また、こうした外出がご利用者さんにとっても、とても楽しみになっています。

さ
み
ら
い
新
聞

第 68 号

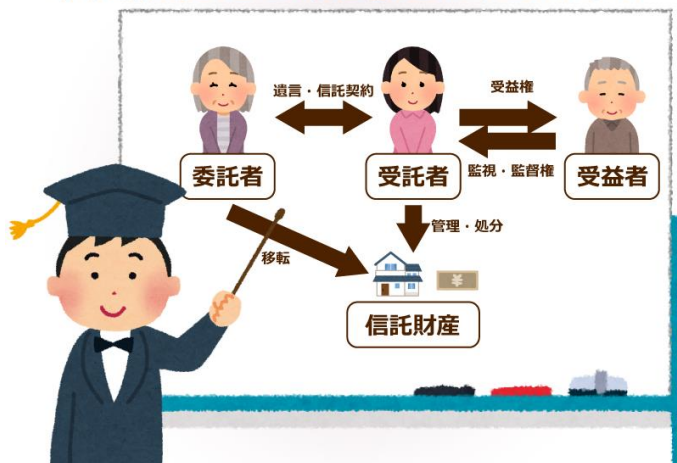
2019 年 4 月

発行責任者

新津 尚

認知症になる前に

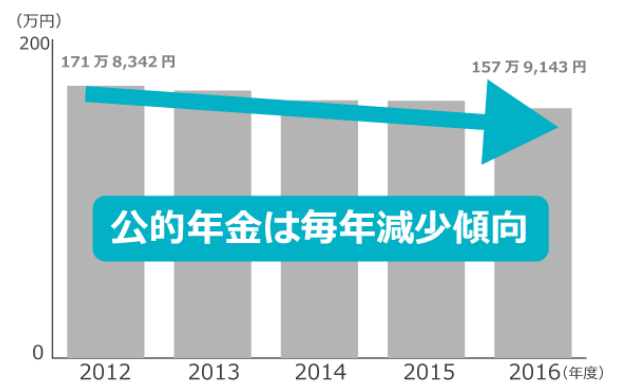
家族信託などの財産管理は早めに対応



認知症になる前に、出来るだけいろいろな準備をしておくことが大切です。認知機能低下を抑制することと緩和することが大切ですが、緩和するという事で取り組むのが、①IT 機器を活用すること②ずっと続けられる趣味や運動を持つことです。また、家族で整えておきたい環境は、認知症になった場合の財産管理の方法や、認知症をめぐる経済的なリスクをカバーすることが大切です。認知症が進むと、どこに何の資産があるのか、家族でもわからなくなる可能性が高くなるからです。

公的年金削減！

高齢者 1 人あたりの年金給付費（年間）



2017 年に厚生労働省が行った「後期高齢者医療制度被保険者実態調査」によると、高齢者の収入の 77.2% が「年金」です。また、1 年間の受取額（社会保険料などが控除される前の金額）では「50～80 万円」が最多。100 万円未満の年金収入しかない人が全体の半分を占め、200 万円以上受けている人は、4 分の 1 に過ぎません。

こうした中、年金支給を 67 歳（70 歳案もある）から支給する。70 歳まで社会保険料を払っていく案が出ています。日本は、いったいどうなっていくのでしょうか